



# 四国の課題解決 × SDGs推進 ワークショップ実施のご案内

---

## 鷺見 英利 / Washimi Hidetoshi

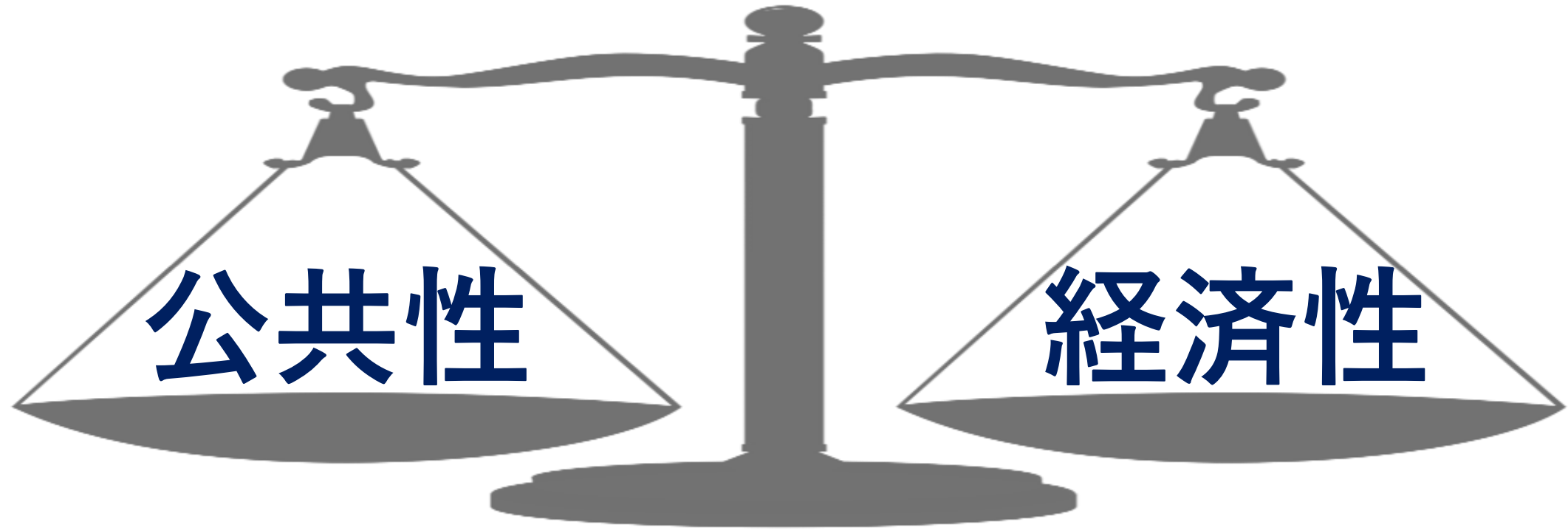
株式会社官民連携事業研究所  
代表取締役社長/創業者

2002年ハイアールジャパンホールディングス(株)に社長補佐として入社。青島海爾の日本市場開拓、ブランディング構築に従事。同社退職後、2006年(有)ガリアースを設立し、代表取締役に就任、また同年ジャパンハウジング(株)を設立し、取締役に就任。ハイアール等海外企業の日本参入で得た知見、人脈を活かし複数事業を立上げる。2012年一般社団法人KAI OTSUCHI設立して初代理事長就任、その後プロジェクトが評価され総務省地域情報化大賞奨励賞を受賞。またママスクエアでも翌年総務省地域情報化大賞奨励賞を受賞し、2年連続で異なるプロジェクトで評価を受ける。2017年四條畷市特別参与に就任。

### 【兼任】

四條畷市特別参与、ジャパンハウジング(株)代表取締役  
(株)ママスクエア取締役、(有)ガリアース代表取締役





良き前例  
創出

官民人材  
育成

伴走企業  
紹介



# 通訳者



# 一 連携協定先の自治体



大阪府  
四條畷市



大阪府  
柏原市



奈良県  
三宅町



高知県  
宿毛市



奈良県  
斑鳩町



兵庫県  
三木市



山梨県  
大月市



宮崎県  
延岡市



高知県  
四万十町



大阪府  
東大阪市



香川県  
東かがわ市

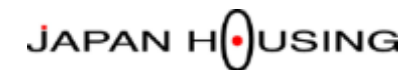


大阪府  
岬町

# — パートナー企業 (一部抜粋)



Inagora





## 四国遍路へ新たにシェアサイクルを配備。～世界遺産登録を後押しするため、遍路保全と魅力発信を強化～

2020年2月20日より、四国霊場第二十二番札所白水山平等寺（徳島県阿南市、以下平等寺）と、シェアサイクルサービス「PiPPA」を展開する株式会社オーシャンブルースマート（東京都板橋区、以下オーシャンブルースマート）とは、阿南市内や小松島市内の四国遍路各所へのシェアサイクル整備事業を開始しました。四国遍路をより柔軟・自由な手段で巡拝できる環境整備だけでなく、シェアサイクル利用料の一部が四国遍路の保全活動に寄附される仕組みも導入します。

さらに、世界遺産登録の重要な鍵となる受入体制整備、札所や遍路の保全、文化的価値発信の観点から、データ分析・提供ではNECソリューションイノベータ株式会社（東京都江東区、以下NECソリューションイノベータ）、魅力発信では世界中に約360万人のフォロワーを持つ「Japan OLD」運営の株式会社DMoX（大阪府中央区）との協働などにより、四国遍路の世界遺産登録への強い後押しとなることを目指します。



テープカットの様子（左から、オーシャンブルースマート 代表取締役 小竹海渡、別格本山立江寺 副住職 庄野晃隆、白水山平等寺 住職 谷口真梁、阿南市長 表原立磨、NECソリューションイノベータ イノベーション戦略本部長 垂松宏幸）



## 地域や組織を超えた連携

- ・ 自治体 × 企業 × 地元（お寺・地元企業）
- ・ PiPPA × NEC × JAPAN OLD 民民連携
- ・ 地域資源の最大限活用化

四万十町が抱える課題を行政職員と民間のエース (大企業・スタートアップ社員) とともに深掘りし、解決案を町長・副町長・教育長へ政策プレゼン実施

▼最終発表時の様子 (オンライン)



▼課題とりまとめ

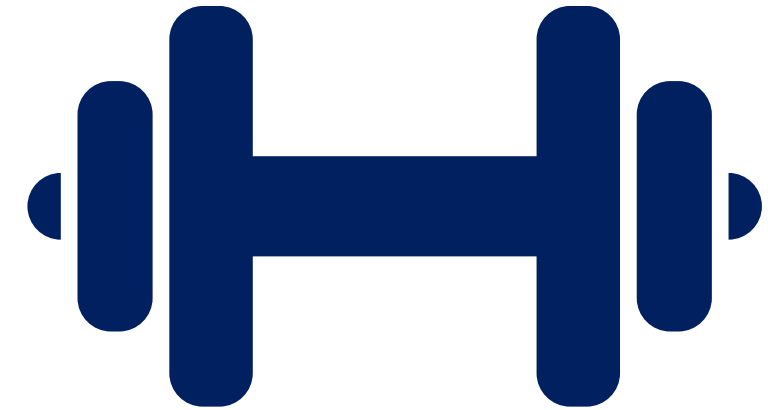
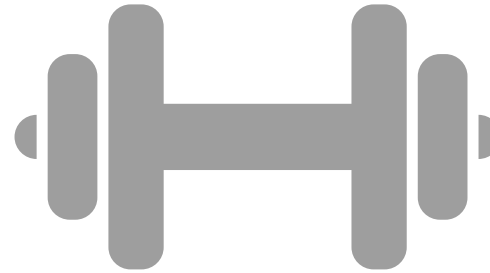
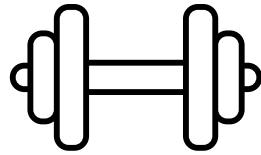
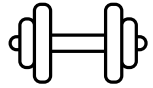


## 課題解決型：行政職員×民間エース

- ・ 職員×企業×地元
- ・ フィールドワーク実施による課題深掘り
- ・ 政策実現へ向けた共創

# 筋トレ

だんだんと筋力をつけていく



第3世界のキャッチアップ

貧富の差拡大

気候変動

コロナ禍

価値感の変化

人口100億人

民族抗争

国家紛争

宗教戦争

環境破壊

ベーシックインカム

エネルギー問題と争奪戦

大規模飢餓

温暖化

ブロックチェーン技術  
による技術の代替

業界再編

化石燃料からの脱却

Pier to Pierビジネス化

労働人口の不足

ボーダレス国家

中央集権社会の終焉

高齢化社会

個人が活躍する世界

テクノロジーの均一化

新イデオロギー

能力格差

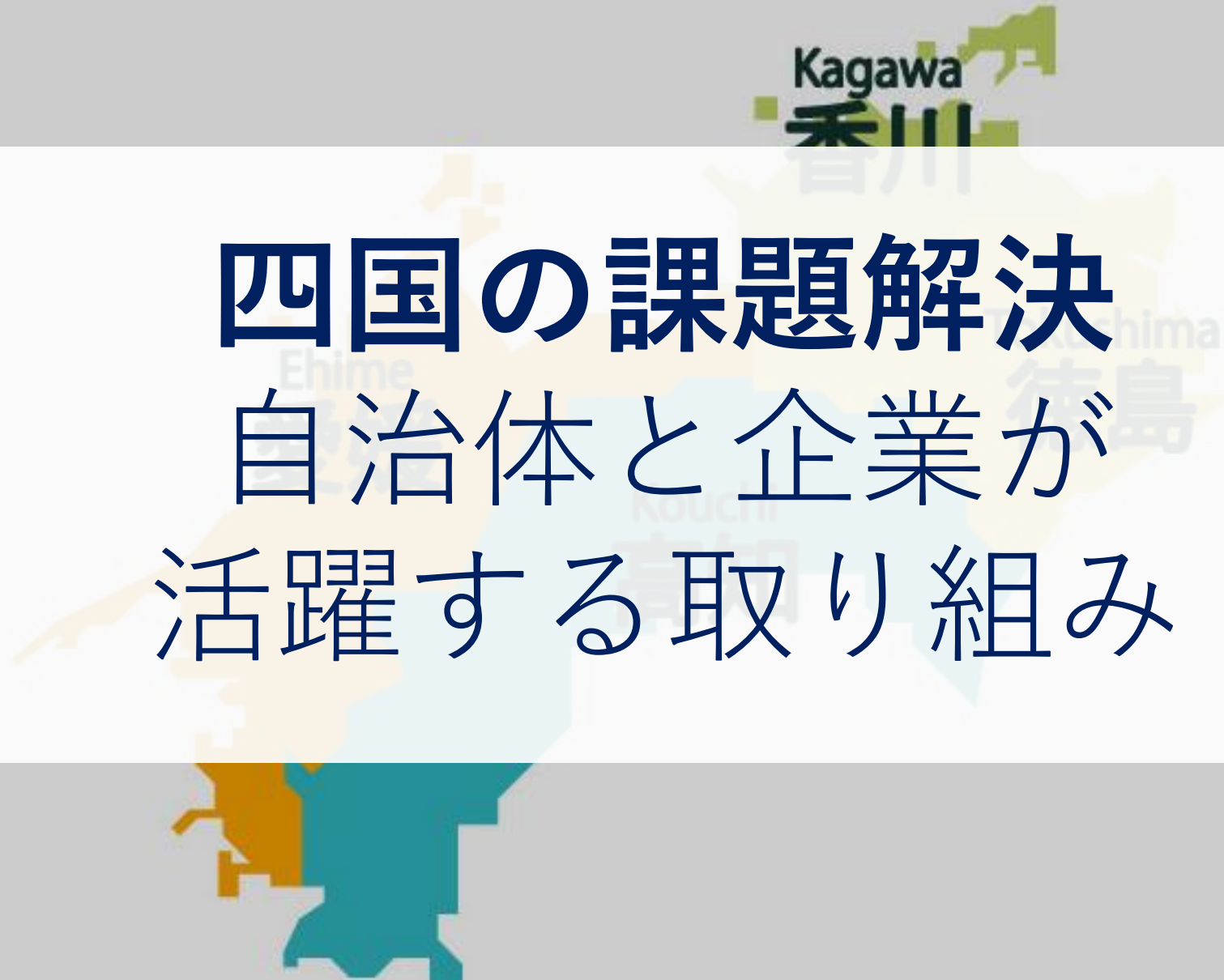
AIとロボットの台頭

# — 今後の世界と流れへの対応



<p>(①貧困)</p> <p><b>1</b> 貧困をなくそう</p>	<p>(②飢餓)</p> <p><b>2</b> 飢餓をゼロに</p>	<p>(③保健)</p> <p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p>	<p>(④教育)</p> <p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p>	<p>(⑤ジェンダー)</p> <p><b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>(⑥水・衛生)</p> <p><b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>(⑦エネルギー)</p> <p><b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>(⑧成長・雇用)</p> <p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p>	<p>(⑨イノベーション)</p> <p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>(⑩不平等)</p> <p><b>10</b> 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>(⑪都市)</p> <p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>(⑫生産・消費)</p> <p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p>
<p>(⑬気候変動)</p> <p><b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>(⑭海洋資源)</p> <p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p>	<p>(⑮陸上資源)</p> <p><b>15</b> 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>(⑯平和)</p> <p><b>16</b> 平和と公正をすべての人に</p>	<p>(⑰実施手段)</p> <p><b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう</p>	

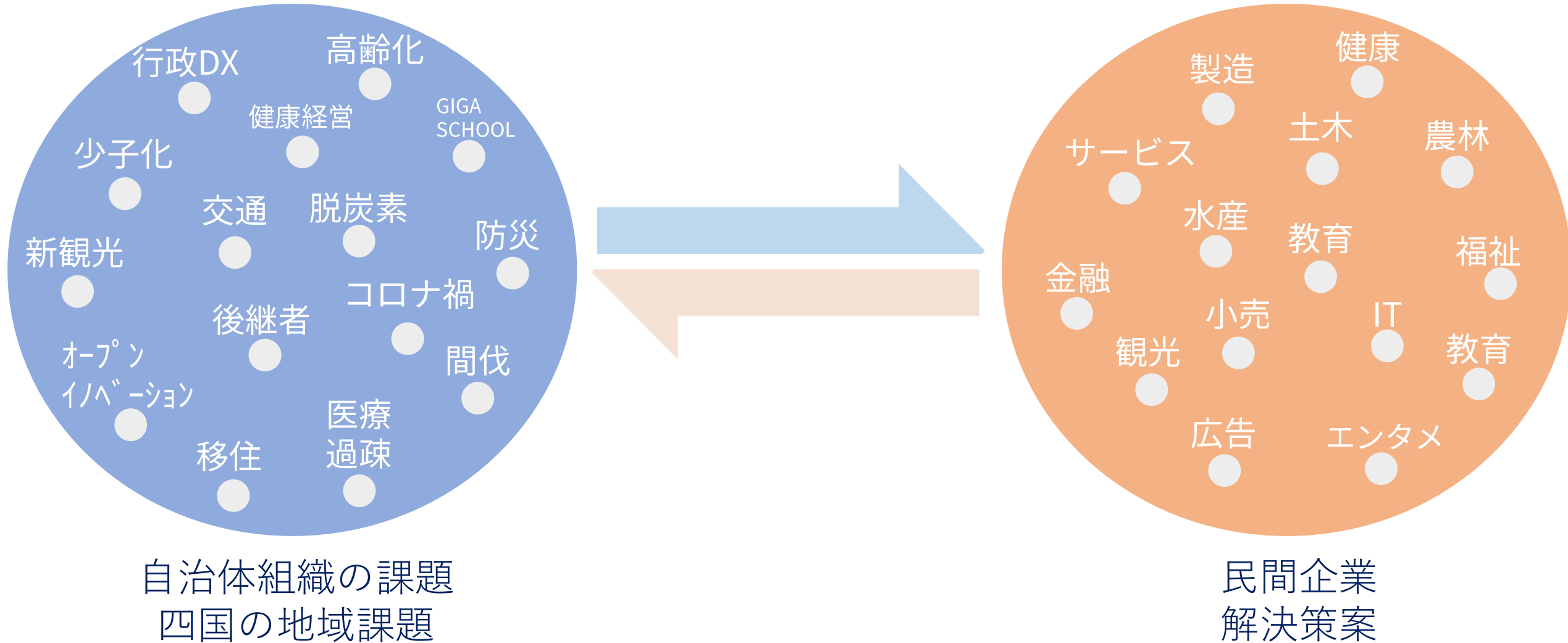
# ローカルSDGs四国と 連携した取り組み



# 四国の課題解決 自治体と企業が 活躍する取り組み



# 自治体と民間企業：共創を促進



Step 1

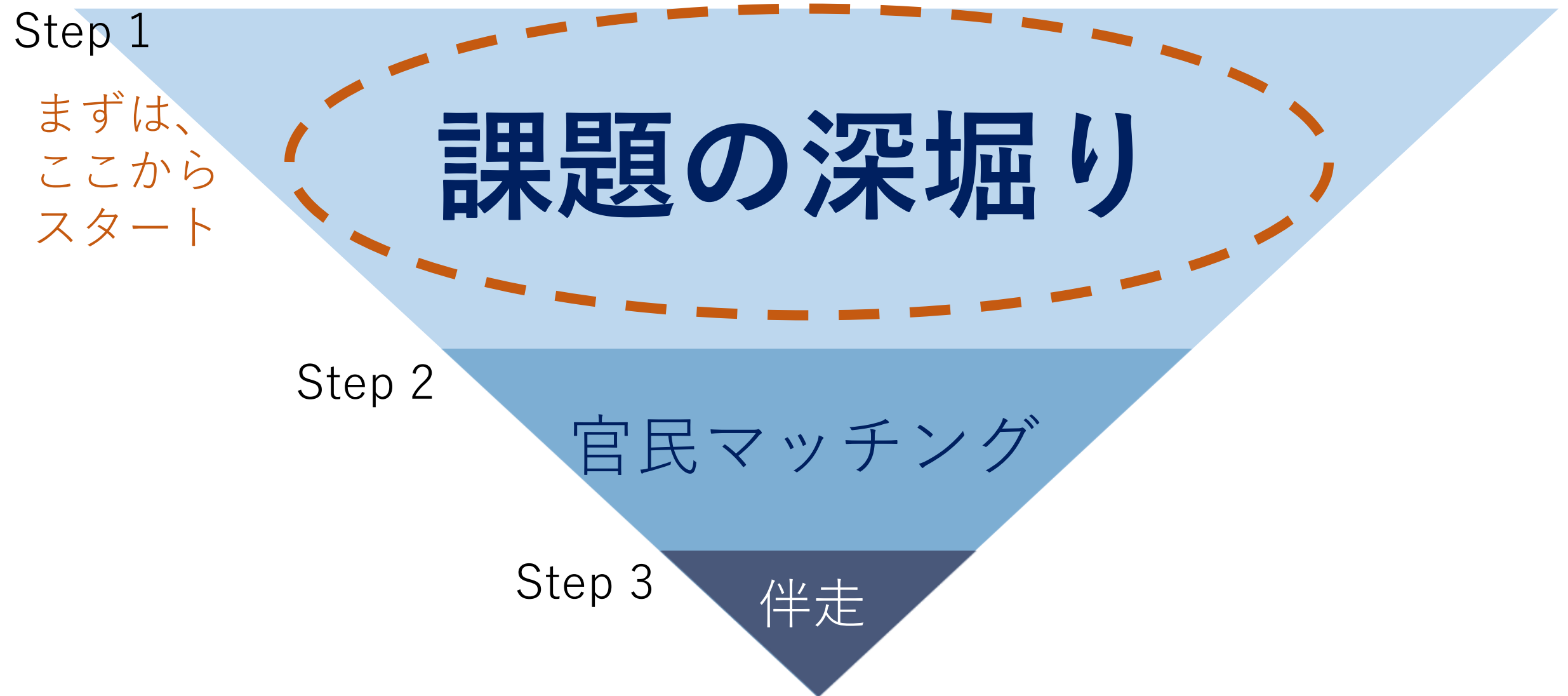
課題の深掘り

Step 2

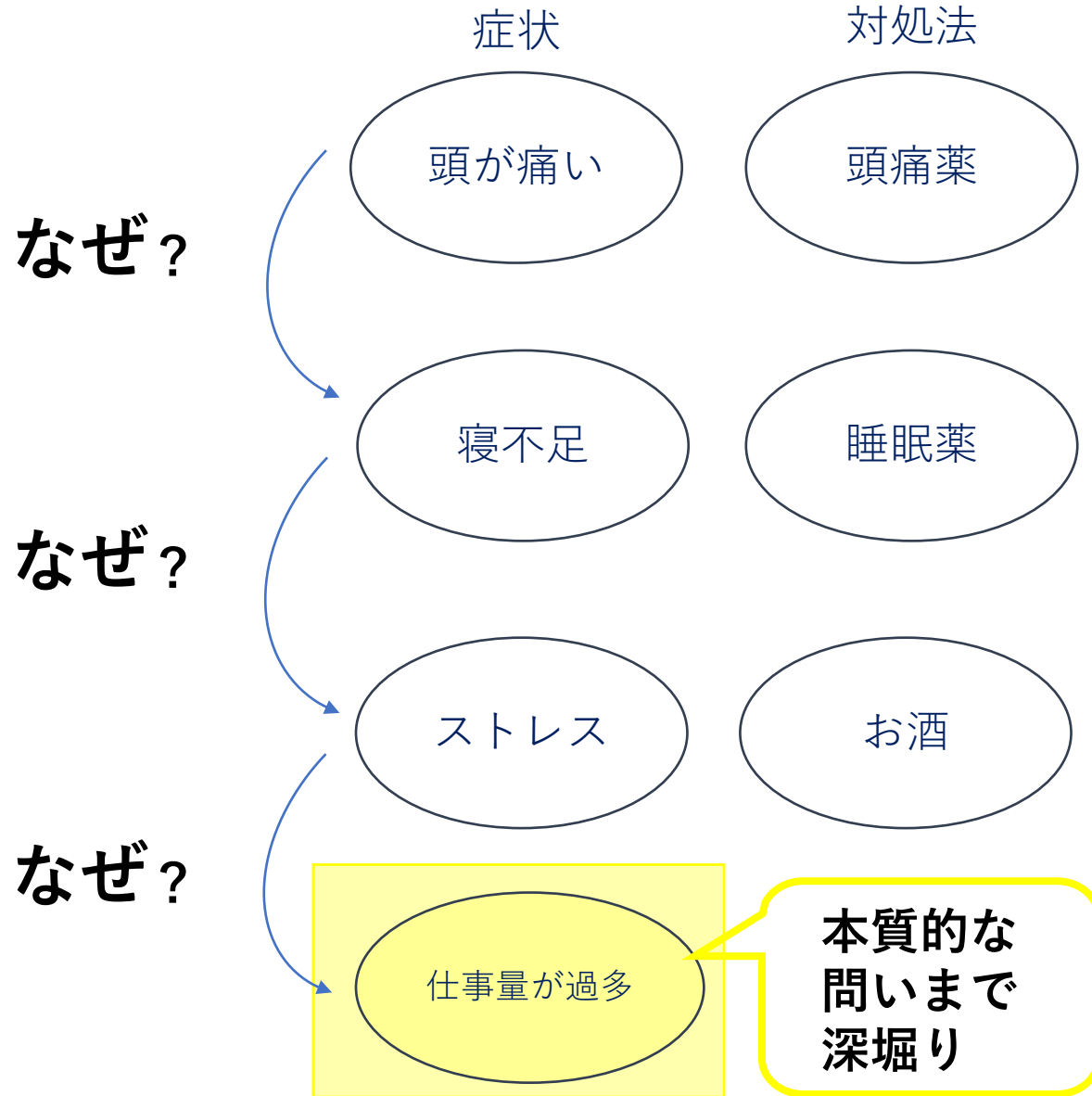
官民マッチング

Step 3

伴走



# 「問い」が浅いと回答がズレる



■ 自治体が捉えている「問題」

■ ワークショップ

- ・ 本質的な課題は何か、隠れた問いを明らかに
- ・ 課題を深掘りする
  - 「なぜ？」
  - 「本当に？」
  - 「誰が？」

重要なことは、正しい答えを見つけることではない。  
正しい問いを探すことである。

間違った問いに対する正しい  
答えほど、危険とはいえない  
までも役に立たないものはない。

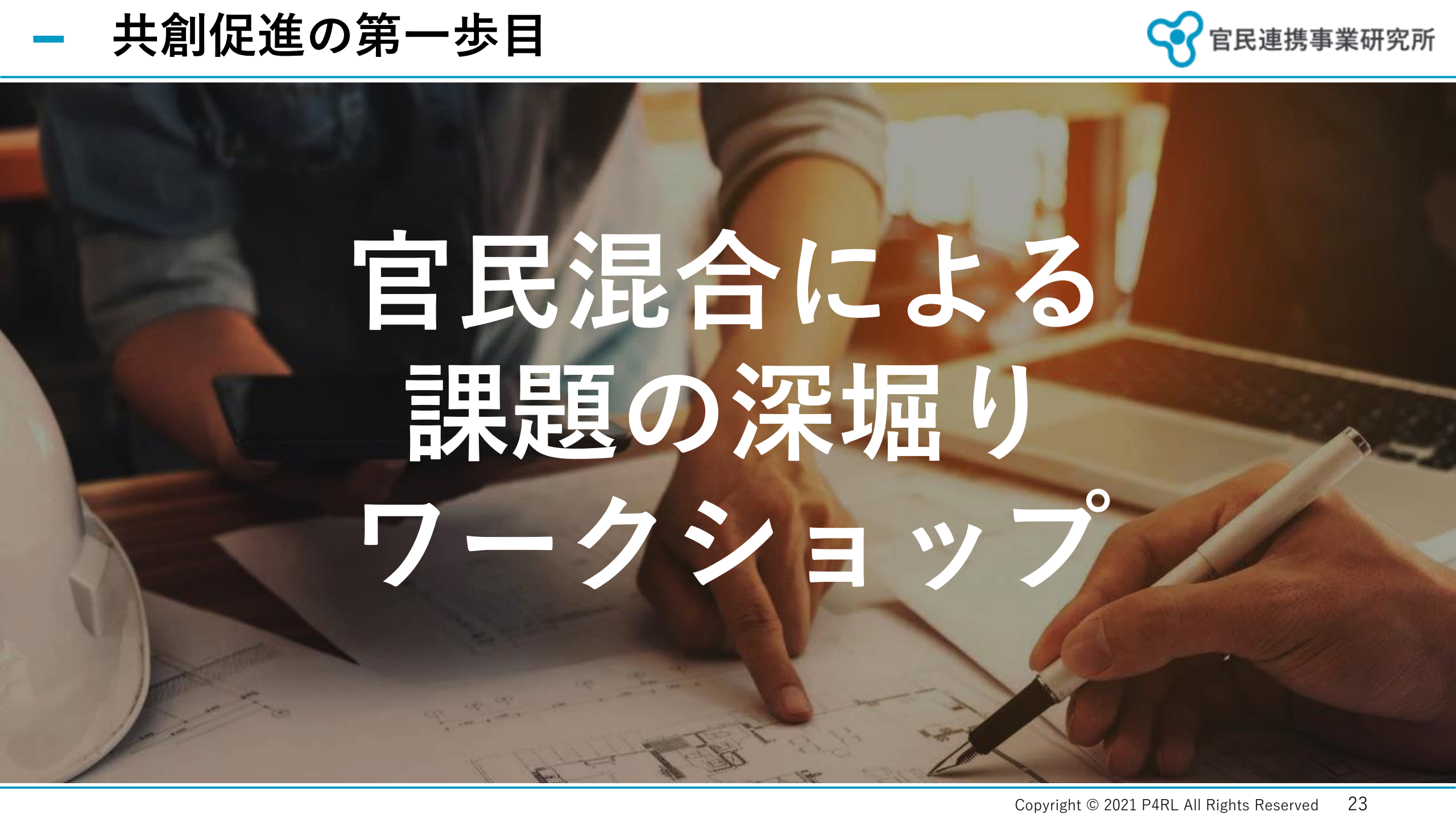
P.F.ドラッカー



# — 共創促進の第一歩目



コミュニティ  
良い問いは、仲間をつくる



# 官民混合による 課題の深掘り ワークショップ



課題提案の自治体



民間企業等

民間企業・大学・金融機関・NPOなど

- 自身の課題を深掘り整理
- 質の高い民間とのマッチング
- 「善き前例」の創出
- 自治体が抱える課題を把握
- 新規事業、R&DやCSVのタネの発見
- タネの実証実験協力先を発見
- □ 越境研修として職員・社員育成として活用できる。
  - ・ 自組織以外の様々な背景を持った人たちと話し合い、学びと気づきにつながる
  - ・ 課題を深掘りするために必要な視点を得られる
  - ・ 課題の深掘りの手法を体感できる



1か月

## 声かけ

- ・ LS四国※1へ登録した自治体と企業へ周知
- ・ 発表者募集
- ・ 参加者募集

2か月

## ワークショップ

- ・ 3～5自治体の担当者が課題発表
- ・ 参加者は産官学など30名/回程度を想定
- ・ 課題保持自治体職員以外も参加可能
- ・ 専門分野外でも企業の参加可能

3か月

## 自治体課題 フォローアップ

- ・ 発表した自治体担当に改めてヒアリング
- ・ 自治体の深掘りした課題に対応できる共創企業を紹介

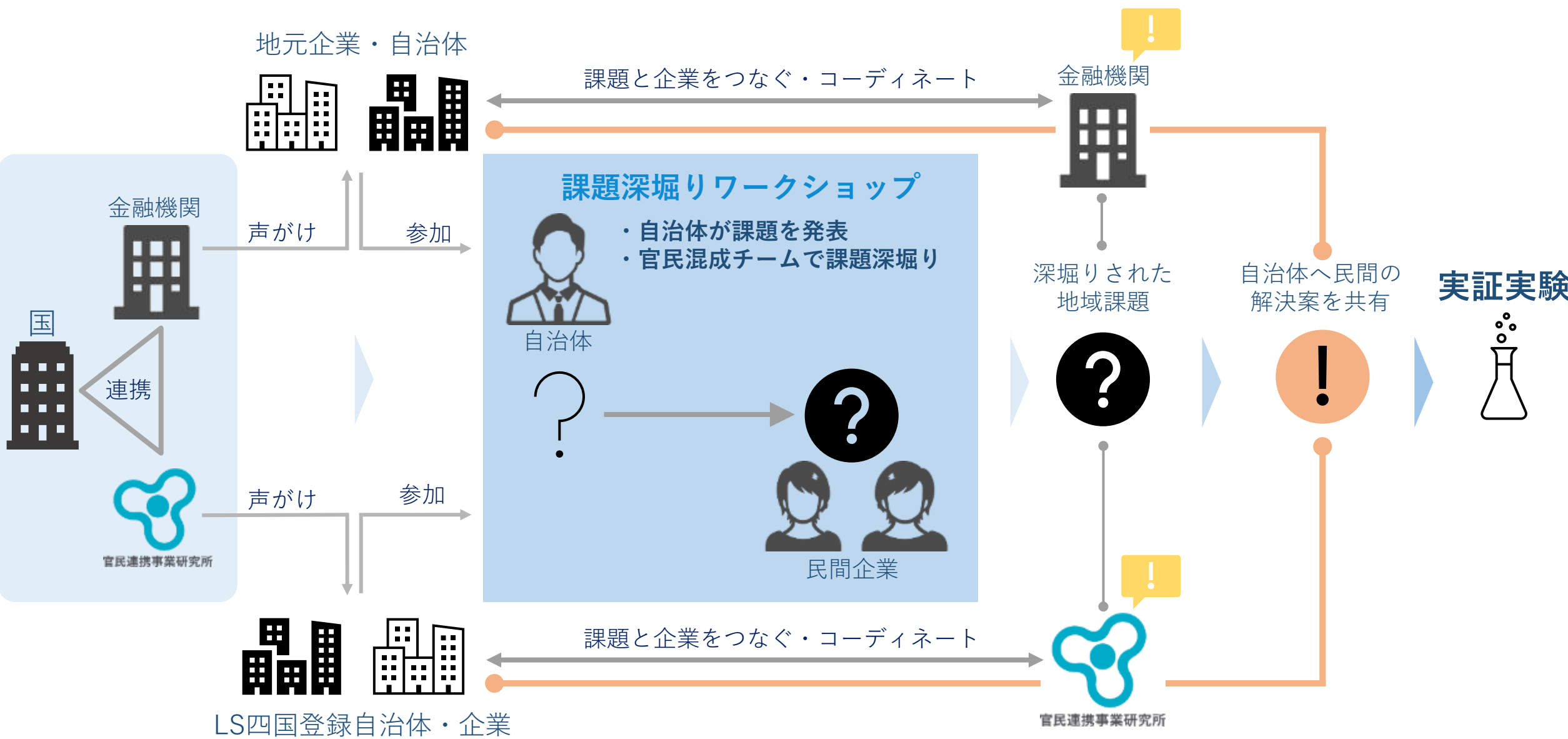
4か月

## マッチング

- ・ LS四国、金融機関、プラットフォーム等に自治体課題を共有
- ・ 興味を持った企業は自治体へ共創提案※2

※1 LS四国 : ローカルSDGs四国  
※2 共創提案 : 随意契約や入札事業を確約するものではない

# 課題解決に向けた共創の全体図



- ✓ 社会課題を解決したい自治体の方
- ✓ CSVに取り組みたい民間企業の方

ローカルSDGs四国  
ご登録ください

(株)官民連携事業研究所

<https://p4rl.com/>

[support@p4rl.com](mailto:support@p4rl.com)



ともに四国を盛り上げていきましょう！